

— カワウを通して野生生物と人との共存を考える(その9) —

カワウは河川湖沼でどんな魚を食べているのか。 アユは好き？

カワウワーキンググループ

世話人:加藤ななえ (NPO 法人バードリサーチ)

1990年代に入り、カワウは全国的にその個体数と分布を大きく回復させてきました。関東のように、個体数が安定してきているところもありますが、地域によっては、生息域がまだ拡大する傾向もあります。カワウの飛来を目の当たりにして危機感を募らせた内水面漁業者や釣り人らから、放流魚の捕食被害が切実に訴えられています。

日本では、一部の地域で吐き戻し魚の分析や、羽を用いた安定同位体分析などの研究も行われてきましたが、圧倒的にデータが多いのは、駆除個体の胃内容物調査です。しかし残念なことに、サンプルの季節や捕獲場所が偏っているなど、なかなか全体像が見えていませんでした。

カワウは、河川湖沼で、どんな魚を食べているのだろうか。

カワウのアユに対する捕食圧って、どれほどなのだろうか。

今回は、栃木県、山梨県、愛知県、滋賀県で調べられた、カワウの河川湖沼での採食に関わる発表とコメントを、鳥と魚の研究者にお願いしました。地域の違いだけでなく、テーマやアプローチもそれぞれに異なっており、カワウと魚と人の関係を様々な角度から探ることができます。

— 発表リスト —

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ① 愛知県におけるカワウ駆除個体の胃内容物と駆除について | 新妻靖章氏 |
| ② 琵琶湖におけるカワウの食性の季節変化 | 高橋鉄美氏 |
| ③ カワウにとってのアユ、アユにとってのカワウ: 栃木県の例 | 藤岡正博氏 |
| ④ 山梨県内の河川の魚類相とカワウの個体数の季節変化 | 坪井潤一氏 |